



ごりようが丘

令和6年9月24日

加東市立社小学校学校通信

全国学力学習状況調査結果より

令和6年4月18日(木)に実施した全国学力・学習状況調査の結果が出ました。本年度の小学校調査は、6年生の児童を対象とした悉皆方式で、教科に関する調査(国語、算数)と質問調査を実施しました。

この調査結果を受け、教職員研修で日頃の児童の学習状況や生活状況と照らし合わせ、結果分析を行いました。全国平均との比較、昨年度との比較をした成果と課題について検討し、2学期からの授業改善や生活面の指導に生かしていきます。

[結果の分析概要]

- (全国平均と同程度 全国平均の±5ポイント以内)
- (全国平均より高い 全国平均の+5ポイント超)
- △(全国平均より低い 全国平均の-5ポイント超)

1 教科に関する調査

(1)国語 全体正答率……□全国平均の正答率と同程度(R5年度 □)

【学習指導要領の内容別】

- ①「話すこと・聞くこと」……△全国平均の正答率より低い (R5年度 □)
- ②「書くこと」……□全国平均の正答率と同程度 (R5年度 △)
- ③「読むこと」……□全国平均の正答率と同程度 (R5年度 △)

[正答率の傾向]

学習指導要領の内容別でみると、①「話すこと・聞くこと」に課題が見られました。しかし、②「書くこと」、③「読むこと」については、昨年度から改善傾向が見られました。

[成果]

- ・心に残ったところと、その理由を条件に合わせて書くことができている。
(取組:授業で叙述を基に理由を明らかにして、自分の考えを書かせてきた。)
- ・これまで無回答率が高かったが、全国平均より大きく下回っている。
(取組:最後まで粘り強く考え、書く指導をしてきた。)

[課題→手立て]

- ・目的や意図、相手の求めていることに応じて、複数の情報を関係付け、必要な情報を取り出して考える力が弱い傾向がみられる。
→相手の意図や求めていることをくみ取り、自分の考えと関連付けながら、対話する場を多く設定する。

(2)算数 全体正答率…… □全国平均の正答率と同程度(R5年度 △)

【学習指導要領の内容別】

- ①「数と計算」…… □全国平均の正答率と同程度(R5年度 △)
- ②「図形」…… □全国平均の正答率と同程度(R5年度 △)
- ③「変化と関係」…… □全国平均の正答率と同程度(R5年度 □)
- ④「データの活用」…… □全国平均の正答率と同程度(R5年度 □)

[正答率の傾向]

算数の正答率、学習指導要領の領域別①～④では、全て全国平均の正答率と同程度となっていました。昨年度、課題があった「数の計算」「図形」については、昨年度との比較では上昇傾向が見られました。しかし、解答形式別の分析では、選択解答及び短答式の解答は高い傾向にあるが、記述式問題の正答率は低い傾向にありました。

[成果]

- ・知識、技能の項目の正答率が高くなっている。
(取組:家庭学習やプリント学習などを通して、既習内容を繰り返し練習したり、間違いはその日のうちに全て直しをしたりして、基礎学力の定着を図ってきた。)
- ・2年前と比べて、図形の項目の正答率が大きく伸びている。無回答率が減っている。
(取組:単元に入る前に前学年の学習内容をプリントで復習してから取り組むようにしてきた。)

[課題→手立て]

- ・言葉や式を用いて記述する問題の正答率が低くなっている。
→話型や型を示して、まずは書くことに慣れるようにする。

2 児童質問紙調査

(1) 基本的な生活習慣等

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ているか。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きているか。

(2) 挑戦心、達成感、自己有用感等

- 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか。
- △分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか。

(3) 授業等の学習状況

- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めているか。
- 英語の授業の内容はよく分かるか。
- △理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てているか。

教員と児童が共に伸びる授業づくり

学習状況調査の質問、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」では、「当てはまる」と回答した児童の割合が、全国平均を約14ポイント上回りました。教員と児童が粘り強く取り組んできたことが、徐々に成果として出てきています。

課題はありますが、算数の正答率の上昇や、各問題の無回答率の減少など、学級担任が個別の学力に合わせた指導を推進してきたことや、5年生から兵庫型学習システム教員を配置し、個別指導を行ってきた成果が出てきていると感じています。

全国学力学習状況調査は、毎年、6年生で実施されるため、対象児童は変わりますが、学校の学習状況の一側面として、謙虚に受け止め今後も指導力向上に努めたいと思います。